

学生部

だより



スポーツ施設貸出について（多摩キャンパス）

1. 休日貸出について

12月より3月まで停止します。

2. 屋外施設の5時限目貸出について

日没が早まったことに伴い、11月より停止しています。

3. 12月以降の貸出日について

① 12月1日(金)～12月22日(金)

② 1月6日(土)～1月19日(金)

※祝日・日曜日・臨時休業日は貸出を行いません。

4. 春季休業中の貸出日について

① 2月5日(月)～2月9日(金) 1時限～4時限のみ

② 2月19日(月)～3月16日(金) //

③ 4月4日(水)～4月12日(木) //

※土曜・日曜日は貸出を行いません。

5. 一般フィールドA・B（ソフトボール・ミニサッカー）について

1月より学生課窓口での予約受付を停止します。降雪・降霜等の天候により、第2体育館事務室の当日判断にて貸出を行いますのでご注意ください。



学生部の窓口時間のお知らせ

期 間	窓 口 時 間	
学 生 課		
～12月22日(金)	月～金	10:00～19:00
	土	10:00～12:00
1月6日(土)～1月11日(木)☆ 1月13日(土)・1月15日(月)	月～金	10:00～19:00
	土	10:00～12:00
1月12日(金) 1月16日(火)～4月12日(木)	月～金	10:00～17:00
	土	10:00～12:00
厚 生 課		
～12月22日(金)	月～金	9:00～19:00
	土	9:00～12:00
1月6日(土)～1月20日(土)☆	月～金	9:00～19:00
	土	9:00～12:00
1月22日(月)～4月12日(木)	月～金	9:00～17:00
	土	9:00～12:00
学 生 相 談 室		
～12月22日(金)	月～金	10:00～18:00 (月曜日17:00迄)
	土	10:00～12:00
1月6日(土)～2月3日(土)☆	月～金	10:00～18:00 (月曜日17:00迄)
	土	10:00～12:00
2月5日(月)～3月31日(土)	月～金	10:00～17:00
	土	10:00～12:00
理工学部学生生活課		
～12月21日(水)	月～金	10:00～18:00
	土	10:00～12:00
1月6日(土)～1月11日(木)☆ 1月13日(土)・1月15日(月)	月～金	10:00～18:00
	土	10:00～12:00
1月12日(金)・ 1月16日(火)～4月12日(木)	月～金	10:00～12:00 13:00～17:00
	土	10:00～12:00

※冬季休業期間（12月25日(月)～1月5日(金)）の窓口業務は行いません。

※窓口時間を変更する場合には、事前に各課窓口に掲示します。

☆1月9日(火)は臨時休業のため、17:00閉室となります。

2007年2月・3月 春季契約宿舎利用案内

学生部では、ゼミ合宿を始め、各種の合宿のために、「契約宿舎」を紹介しています。学生課または理工学部学生生活課で利用受けを行います。くわしくは、配布中の“春季契約宿舎利用案内”をご覧ください。

宿 舎 名	富士ビューホテル (河口湖)	ホテル 花いさわ (石和)
所 在 地	〒401-0310 山梨県南都留郡富士河口湖町勝山511 ☎0555-83-2211	〒406-0021 山梨県笛吹市石和町松本1409 ☎055-262-4166
期 間	① 2 / 1 (木) ~ 3 / 30 (金) 泊 * 詳細は“利用案内”をご覧ください。	① 2 / 1 (木) ~ 3 / 30 (金) 泊 * 詳細は“利用案内”をご覧ください。
利用料金	1名1泊 3,500円 (消費税・入湯税込) < 3食付 宿泊中の昼食あり、最終日の 昼食なし >	1名1泊 3,500円 (消費税・入湯税込) < 3食付 宿泊中の昼食あり、最終日の 昼食なし >
交 通	電車 / 新宿駅 → 河口湖駅 (2時間30分) バス / 新宿 B T → 河口湖駅 (約2時間) 河口湖駅から送迎バス有 (約5分)	電車 / 新宿駅 → 石和温泉駅 (1時間30分) 石和温泉駅から徒歩5分

利用資格：本学の学生・教職員。但し、学生はグループ単位（4人以上）とします。

利用日数：4泊5日を限度とします。

申込受付：ゼミ団体、サークル団体、その他の団体を一斉受けします。

受付方法：原則として先着順です。受付初日・2日目に限り午前9時45分までに窓口に来た人に整理券をお渡しします。10時から抽選された順に受け付けを行います。

(注) 順番によっては、午後の受付となる場合もあります。

申込時の注意：<重要>①利用日程、②教職員の人数、③男子学生・女子学生の内訳、④大学院学生・OB等の人数、⑤会議室の要・否についても確認しておいてください。
 第2希望の日程または宿舎についても、事前に検討しておいてください。
 利用券発行後の人数変更は、他の団体に迷惑がかかりますので、予約時には、人数を確定しておいてください。

手続き方法：申込日を含めて、**10日以内に申し込み書類を提出してください。**(2週間以内に手続きをしない場合は、予約はキャンセルとなります。)

申し込み書類を提出時に利用券を発行します。なお、書類を提出の際は、利用料金は必要ありません。

料金の支払い：利用料金は、チェックアウトの際に支払ってください。

NEWS!

<その1> 低料金で利用できます!

<その2> 人数が多くても相談ください!

石和びゅーほてる (石和)	ルネッサ赤沢 (伊豆高原)
〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島1607 ☎055-262-4425	〒413-0233 静岡県伊東市赤沢190-5 ☎0557-54-1670
① 2 / 1(木) ~ 3 / 30(金)泊 *詳細は“利用案内”をご覧ください。	① 2 / 1(木) ~ 3 / 30(金)泊 *詳細は“利用案内”をご覧ください。 *コテージ形式
1名1泊 3,500円 (消費税・入湯税込) <3食付 宿泊中の昼食あり、最終日の 昼食なし>	1名1泊 3,500円 (消費税・入湯税込) <3食付 宿泊中の昼食あり、最終日の 昼食なし>
電車/新宿駅→石和温泉駅 (1時間30分) 石和温泉駅から徒歩20分 送迎バス有(約5分)	電車/特急踊り子号 新宿→伊豆高原 (2時間) 伊豆高原駅から送迎バス有 (約7分)

キャンセル：キャンセル発生の都度、学生課へ申し出てください。

利用券発行前……学生課又は理工学部学生生活課窓口へ申し出てください。

利用券発行後……2箇所へ連絡してください。①学生課又は理工学部学生生活課窓口(利用券を持参してください。)②利用する宿舎

利用開始日の3日前までに連絡をしてください。3日前をすぎると、キャンセル料金2,000円(1名1泊)が徴収されます。【例】3/26利用開始の場合、3/24からが有料となります。

参加者の変更：名簿の記入が必要となりますので、速やかに学生課又は理工学部学生生活課窓口へ申し出てください。

チェックイン・アウト：原則としてチェックインは午後3時、チェックアウトは午前10時です。(10時以降は宿泊室の荷物を所定の場所に移してください。)

その他：①宿舎内での生活は、すべてセルフサービスです。宿泊室の清掃、ゴミの処理などを各グループで行ってください。

②代表者は、常に人数を把握しておいてください。

③宿舎利用後必ず、速やかに所定の用紙にて利用実数をご報告ください。

災害救援ボランティア講座 参加者の声

中央大学学生部

前期試験が終了した直後の2006年7月30日(日)、8月1日(火)、2日(水)の3日間『災害救援ボランティア講座』を実施し、63名の学生が参加しました。この講座は「災害時、わが身と家族の命を守る」ため、実践的な防災の基礎知識と応急手当を学び、ひいてはボランティア活動の活性化に繋げることを目的とし、3日間、応急手当活動(東京消防庁による上級救命講習)、災害模擬体験と実技(消火訓練・地震体験・煙体験)、災害・防災について(講義等)の講座に熱心に取り組み、修了者には、災害救援ボランティア推進委員会より「セーフティリーダー認定証」が、東京消防庁より「上級救命技能認定証」が、それぞれ交付されました。

講座を修了した参加者の声をご紹介します。

③ ハードスケジュールでしたが、どれも面白い項目ばかりでした。知識・技術を得られたことはもちろんですが、何よりも災害や災害救援ボランティアに対する意識を高めることができたのが、よかったです。私には家族がたくさんいます。もしもの時、皆をきちんと助け支え導けるような人間になりたいと思いました。
(経済学部4年 女子)

③ 指導員の方がみなさん優しくかったです。

指導が良かったので理解しやすく、1日目の応急手当もよく記憶に残りました。災害が起きた時、まず何より自分の身を守ることが大切なのだと思えました。普段の生活の時、目の前で人が倒れたら手を差しのべる勇氣を持てたような気がします。応急手当を今までに4回習い、今回初めて助けてあげられる自信を感じました。もちろん、心肺蘇生は救急車が来るまでの「つなぎ」ですが、今まではつなぐ自信がありませんでした。今回の講座を受講したことで、他の人(自動車学校でしか応急手当を経験していない人)よりも、自分が目の前の人を助ける方が、より生存率が上がるのではないかと思えたのです。今回初めて学んだAEDも含め、二度と忘れません。自分にできることをしようと思います。
(経済学部4年 男子)

③ もし目の前で大切な人が倒れた時、周りに自分しかいなかった時、その人を救う



ことができるのは自分しかいない。そんな時、何もできない自分は嫌だから、人を守る強い人間に、僕はなりたい。
(商学部2年 男子)

③ まず大切な事は多くの人が避難誘導の問題、初期消火の方法など基本的な災害救援についての知識を持つ事と意識を高く持つ事だと思っています。

又、日頃から友人や家族と災害の時にどうするのかなどの話をする事も大切だと思えました。

今まで気に止めていなかった事柄に目を止めるきっかけとなりました。この様な講座を沢山

学生部だより

の学生に受けてもらいたいと思いました。

(文学部4年 女子)

私はこの講座の中で身につけた応急手当活動の技術は、自信を持って今後の活動に活かしていきたいと思う。実際に街で倒れている人を見つけたり、または困難な状況に直面している人を見掛けたら、まずその現場に誰よりも先に駆けつけリーダーとなり、学んだ技術を活かし応急手当を行いたいと思う。また、将来的には消防士となり東京を守っていきたく思っているの、社会に出て消防士になってからもこの講座で学んだことを基礎的な力と位置付け、さらなる技術、知識の向上に努めていきたいと思う。

(法学部4年 男子)

今回の講座はきっかけなので、さらなる技術・知識の向上に努めたい。

(経済学部3年 男子)

災害救援ボランティアにとって大切なことは、知識や技術だと思います。そして、人のために役に立ちたいという気持ち、謙虚さ、行動力、体力、忍耐力などではないでしょうか。

(経済学部3年 女子)

私は「人を助ける」ということの意味を新しい面から学ぶことができました。将来、「人を助ける」職業に就きたいと考えています。今は、法律家を目指し、法律で人を助けることを学んでいます。この講座によって人の助け方には様々なものがあると身をもって感じました。

ボランティア活動として受けているよりも、自らの人生の上での大切な手段を学ばせていただき、とても有益でした。

教習所で自動車の免許を取得した際も応急手当を学んだのですが、今回改めて学んだことにより、どれだけ理解ができていなかったかわかりました。

(法学部2年 男子)

この講座で身につけた技術・技能を今後自分を守る術として使っていきたい。

そして自分の身近な人(家族・友達・隣人)を守ることができたらいいと思う。

何かあったときに、この講座で身につけたことを活用して少しでもたよりになる人間になればいいと思う。

自分の身を守ることが大切だと思う。自分の身体がなければボランティアなどできるわけがないからだ。直接的に人命を救うことができなくても、正しい情報を得て、それを伝達するといったことでも人命を救うるので、情報という面の活動をするのも大切だと思った。

そして何よりも自分ができることを探し、自分ができることを的確にできるようにしておかなければならないと思う。(文学部1年 男子)

この夏ボランティアリーダーとして子供たちを2泊3日のキャンプに連れて行くので、今回の講習で学んだことを、もしもの時には実践して楽しくキャンプが終わるようにしていきたい。

ボランティア全般に当てはまることだと思うが、単なる自己満足に陥ってはだめで、被災者のニーズに適合した行動をとることが大切だと思う。

(法学部1年 男子)



👤 教員になった際に、生徒の安全確保や防災教育を行っていくことで、今回の経験を生かしていくつもりです。

(文学部4年 男子)

👤 体験あり講義ありの非常にバラエティに富んだ内容で満足できました。今回の講義で得た技術・知識を次につなげるためにも積極的にボランティアに参加していきたいと思えます。

(法学部4年 男子)

👤 大変興味深い話や内容で、災害に対する知識だけでなく、ボランティアというものの自体の考え方や、今、現在の自分の暮らしを見直すための良い機会となりました。広く普及

していけば良いと思います。

(商学部3年 男子)

👤 火事の原因等普段なかなか知ることのできないことを知ることができたり、何より災害の恐ろしさを知ることができ、非常に知的好奇心が刺激された3日間でした。

(法学部2年 男子)

👤 途上国でのボランティアなど、海外に行くことも多いので身を守るときや緊急時に備えロープの結び方を覚えておいたり、子供たちのけがなどにも対応できるようにしたい。

(法学部2年 女子)

上級救命講習会を後樂園キャンパスにて 9月20日に実施しました

中央大学学生部

上級救命講習会に参加して

理工学部精密機械工学科3年 高橋立寛

私は、登山サークルに参加しています。山では美しい自然に触れることが出来ますが、人の手がおよびにくいので万が一のときの備えが大切です。サークル活動を通じて救急救命の大切さを感じました。そこでこの上級救命講習会に参加しました。

講習会では7時間にわたり、実にたくさんの救命法や処置の仕方を学ぶことが出来ました。CPRと呼ばれる心肺蘇生法、心臓へ電気ショックを行うAEDという機器の使用法、三角巾の様々な使用法、熱傷や骨折などの傷病への対処法などです。心肺蘇生法は成人、小児、乳児にたいして方法が違い、安全かつ効果的に行うために手順や方法がしっかりと決まることが分かりました。テレビドラマなどの見よう見まねでは正しく行うには難しい印象を受

けました。また、最近普及が進んでいるAEDですが、正しく使用するにはいくつかポイントがありました。初めて使用する人でも簡単に使用できるように工夫がされていますが、一度使用法を体験できたことはとても有意義でした。

講習会中に講師の方がおっしゃっていましたが、心肺停止や呼吸停止に陥ってからわずか数分で生存率が大きく変わるため、救急車が到着するまでの間の一般の方が命の鎖をつなぐことが非常に大切なのだそうです。実際に救急救命を必要とする人を前にしたら、動揺してしまう



と思います。一分一秒を争う状況では、正確で迅速な処置が必要になります。私はそういう場面で正しい処置を行う自信はあまり持てませんが、一度でも経験したことがあるということは処置の内容に確かな違いを生むのではないかと思います。

今回はたった一日の体験でしたが、非常に充実した体験が出来たと思います。万一のときのために、こうした体験が出来たことは非常に有意義でした。ぜひ多くの方に救急救命の方法を体験していただきたいと思います。

中央大学杯スポーツ大会（学生部主催）

中央大学学生部

2006年10月7日(土)、8日(日)に実施されました。前日まで続いた雨が嘘のような秋晴れの下、多くの学生が参加し、清々しい汗を流していました。

2006年度 スポーツ大会 受付状況(参考)

種 目	参加チーム枠	申込チーム数
ソフトボール	56	69
バレーボール	64	90
バスケットボール	64	77
ミニサッカー	95	133

ソフトボールの部 優勝チーム P'Luck 【つなかり】

商学部3年 吉利亮平

今回、私達は中央大学杯スポーツ大会にサークルで参加しました。私達のサークル・P'Luck(ブラック)は、オールラウンドサークルで、普段は球技全般を主として行い、その他にも年3回の合宿と夏にはバーベキューやキャンプ、M-1、ボーリング大会などいろいろな活動をしています。スポーツ大会もその一環として参加し、その結果優勝という素晴らしい成績を残すことができました。

年2回行われるスポーツ大会は、様々な単位で多くの学生が参加するので、スポーツを通じてサークル内の結束が深まるだけでなく、他の団体との交流もできる数少ない機会であり、私

は非常に楽しみにしています。しかし、春のスポーツ大会はサークルの新歓合宿と重なり、残念ながら参加できませんでした。それだけに、今回のスポーツ大会にかける思いはひときわ強いものでした。授業のない空いた時間を利用するために、練習は朝の早い時間から取り組み、



チームの士気を高めることに力を入れていました。その成果が試合でも生かされ、苦しい場面でもお互いが声を掛け合い、落ち着いてプレーすることができました。また、選手以外のサークルのメンバーの応援が大きな支えとなり、勝利への原動力になりました。

ソフトボールは、一人一人の個人の力だけではなく、集団としてのまとまりやチームワークといった総合的な部分が重要なスポーツです。私達は、いつもサークルという集団の中で、スポーツを通して仲間との連帯感を高めて楽しみながら活動しているので、自然とチームワーク

バレーボールの部 優勝チーム トンデミ～ナ 「まさか…」

文学部2年 池田裕哉

サークルの仲間と普段とは違う雰囲気楽しくバレーできればいいや…なんて気持ちで参加したのにまさか優勝できるなんて思ってもいなかったです。バレーサークルだから負けたくないっていうのはあったけれど、去年の大会でもベスト4。周りもさすがに強いですからね。準々決勝ぐらいからは今年はその壁を越えようなんて話はしてましたけど…あれよあれよで優勝しちゃいました。

けれど、全てが順調に進んだわけではなかったです。エントリーでは誰を誘おうとか、誰なら出てくれるとかか考えながらメールを送ったのですが、予定が合わない人や出たくないっていう人もいました。それで、今回のメンバーで出ることが出来た訳だけど、誘った人全員と一緒に出てればな…とも思ったりします。また二日目の第一試合では、時間を確認したにもかかわらず、試合三十分前までに集まったのはたった四人。この時は正直棄権を考えました。試合直前になって残りのメンバーが来てくれて、先に来ていた僕らはホッとしました。

が生まれているのだと感じています。そういった何気ない日頃の行いが、今回のスポーツ大会ソフトボールの部優勝に結びついたのでと思います。

このスポーツ大会を通じて、改めて多くの人の前に立って動くことの難しさを実感したのと同時に、それを乗り越えた時の達成感や全員で一つのことに向かう一体感を得ることができたと思っています。

最後に、ブラック全員で勝ち取った優勝なのでみんなに感謝したいです。イエーイ♪

そういった試練(?)を乗り越えての優勝だから、普通に勝つより嬉しかったし、楽しかった。クラスの友達には「スポーツ大会でバレーサークルが優勝なんて空気を読め」なんて言われたけれど、手を抜いて負けるなんて言うほど、ずば抜けてうまいわけでもなく、第一失礼ですもんね。

いろんなことがあったけれど、とても楽しくバレーができて、他のサークルとも交流ができて、本当に良い時間が送れたと思います。勝ち負けは関係なく、来年度、再来年度もこの大会に参加して大学生活の大切な思い出の一ページとしていければと思います。



バスケットボールの部 優勝チーム SWISH [無冠の王者 3年越しのタイトル]

文学部3年 増田太一朗

SWISH を結成してから、もう2年以上の月日が流れました。SWISH というチームを立ち上げるようになったきっかけは、私たちが入学してからすぐの「新入生歓迎白門祭」のスポーツ大会での試合で戦ったことでした。その試合の両チームのチーム名は「よーへーず」と「カオルオールスターズ」。お互いに面識はほとんどありませんでしたが、試合後に話すようになり、また同じ学部や授業の友達など、寄せ集められてできたのがSWISHです。いろんな問題もあり、立ち上げた当初と今とで変わったメンバーも数人いますが、私たちが2年生になった春くらいから、やっとチームとしてまとまってきました。

結成したものの、最初は考え方もプレースタイルもまったくかみ合わず、いざこざだらけのひどいチームでした。しかし、練習を重ねることでお互いのクセや長所、短所を見つけ、お互いのいいプレーを引き出せるようになったことで、チームカラーも自然とできあがり、チームの雰囲気も落ち着いてきました。

ただ、私たちに足りないものは「栄冠」でした。学内でも学外でも、取れそうで取れなかったタイトル。いつもいいところまではいくのですが、あと一歩で届かない

タイトルをチームのみんなは渴望していました。そして、やっと今回のスポーツ大会でタイトルを手に入れました。無冠の王者(?)だった私たちにとって、優勝という二文字は最高の勲章でした。優勝した日の夜は祝勝会をし、勝利の美酒を酌み交わしました。

今のSWISHがあるのは、あのときの出会いがあったからです。その出会いの場を提供してくださった学生課のみなさんを含め、大会を円滑に運営してくださったさまざまな方々への感謝の気持ちを胸に、SWISHメンバーの中央大学卒業までの残りの1年半(落第するメンバーがいなければですが笑)を、バスケットを通して、充分に楽しみたいと思います。

・・・ってカタい話はやめて・・・SWISH バンザイ!!





最後のプログラム！15Kmマラソンに向け、ウォーミングアップのジョギング開始！

は非常に大変なことでした。沢を目の前にした時は、興奮と緊張がいきりまじったなんともいえない気持ちでした。自分の力で登りきったときの達成感、そして水にうたれているときの感覚はいまでもリアルに覚えています。この体験は、自分自身と向き合い、そして自分の力で目標を達成した時の喜びを私に教えてくれたと思いま

す。5つの沢を全て登り終えたときは本当に心から感動することができました。

3日目は、丹沢湖一周マラソンでした。丹沢湖の自然にふれあいながら走ることとはとても気持ちいいことでした。最初は一周できるのか不安でしたが、インストラクターの励ましや仲間の頑張りに背中をおされ、このプログラムも途中であきらめることなく達成することができました。

この3日間の体験を通して、自分の掲げた目標をやり遂げることのすばら

しさ、そして大変さを肌で感じることができました。これから、社会に出て大変なことがたくさんあると思いますが、この貴重な体験を通して学んだことを活かし、頑張っていくつもりです。インストラクターの方、そして共に頑張ったみんな、本当にありがとうございました。

新企画

**劇団四季のミュージカルを
みんなで見に行こう！**

トニー賞 ベストミュージカル受賞作 『contact』

企画・製作 = 浅利慶太

感動のミュージカルをこの機会に是非♪

日時：2007年2月3日(土) 17:30 10枚
 4日(日) 13:00 10枚
 7日(水) 18:30 10枚

会場：四季劇場 [秋] (最寄駅：JR山手線・京浜東北線 浜松町駅)

対象：学部学生

参加費：1,600円

12月6日(水) 9:10から

学生課・理工学生生活課窓口にて受付(先着順)

本人が学生証を持って受付窓口にて申込をしてください。大学院生については、鑑賞券の残数がある場合に限り、12月20日(水)から受付を行います。

※詳しくは、多摩キャンパス学生課までお問い合わせください!!

中央大学講演会

— 学生部主催 —

講師 元国連事務次長

明石 康氏

テーマ 「国連・安保理・日本—国際化時代における日本の役割—」

日時 2006年12月7日(木) 13:20開演

会場 多摩キャンパスCスクエア(中ホール)

その他 入場無料・事前申込不要(直接会場にお越しください)

問合せ先 学生課 ☎042-674-3471

ここに注目!

国際化が進むこの時代において、日本が果たすべき役割とは何か。
また、このような現代において、学生は何を学ぶべきなのか。

明石先生からご経験を踏まえたお話をわかりやすく頂戴します。質疑応答の時間もいただいていますので、国連のこと、安保理のこと、様々に伺えるかと思えます。この機会を是非お見逃しなく!

国際公務員など、世界を舞台に活躍したい方の聴講もお薦めです!!

明石先生のプロフィール

職歴:

昭和32年 国連入り(日本人初) 事務局政治安保理局、特別政治問題担当事務次長室、事務総長官房で勤務

昭和49年 国連 日本政府代表部 参事官、その後、公使、大使を歴任

昭和54年 国連 広報担当事務次長

昭和62年 国連 軍縮担当事務次長

平成4年 国連 事務総長特別代表(カンボジア暫定統治機構)

平成6年 国連 事務総長特別代表(旧ユーゴスラビア担当)

平成7年 国連 事務総長特別顧問

平成8年 国連 人道問題担当事務次長

平成9年 国連 退官

現在 スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、日本国際連合学会理事長など

著書:

- ・「国際連合—その光と影」(岩波書店)
- ・「忍耐と希望—カンボジアの560日」(平成7年朝日新聞社)
- ・「サムライと英語」(平成16年5月角川書店)(共著)
- ・「国際連合—軌跡と展望」(平成18年11月岩波書店) ほかも多数

厚生課・理工学部学生生活課からのお知らせ

厚生課 ☎042-674-3461 理工学部学生生活課 ☎03-3817-1717

学部学生対象 2007年度奨学金案内冊子の配布・奨学金出願について

2007年度の奨学金案内冊子「奨学金一案内と手続」(学部用)を下記のとおり配布します。
出願希望者は「奨学金一案内と手続」を受領・熟読の上、下記出願登録期間内に**窓口へ書類を郵送又は持参**(=出願登録)してください。

記

- 対象奨学金**
- ①日本学生支援機構奨学金
 - ②中央大学貸与奨学金
 - ③出願登録が必要な学外奨学金

冊子配布開始日 1月19日(金) から

冊子配布および出願登録窓口

厚生課 (多摩キャンパス)

理工学部学生生活課 (後楽園キャンパス)

出願登録期限 3月23日(金) 17:00まで

郵送提出=3月23日(金)消印有効

窓口提出=期間中、窓口を受付時間内に持参してください。

※**窓口受付時間は本誌「学生部の窓口時間のお知らせ」等で確認してください。**

- ◆希望者は速やかに「奨学金一案内と手続」を受領し、出願登録を完了してください。
- ◆出願登録時に、**父母両方**またはこれに代わって家計を支えている者の**平成18年分所得関係各種書類**の提出が必要となります(詳細は「奨学金一案内と手続」にて確認してください)。
 - 給与所得者=源泉徴収票:1月末日までに勤務先から発行されます。
 - 自営業等=確定申告書の控え:出願登録が所定の期間内に完了するよう、確定申告の時期になりましたら早めに手続きをしてください。
- ◆中央大学貸与奨学金は単年度貸与の奨学金のため、今年度採用になった方で来年度も希望する場合は新たに出願が必要です。
- ◆上記出願登録期間内に**出願登録した方に対して、4月中の指定日に面談を実施します。**

なお、大学院生用(専門職大学院を除く)の2007年度奨学金冊子は、2007年3月20日(火)から配布します。